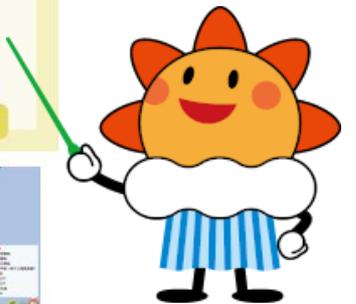


# 気象庁が発表する地震・津波の情報

気象庁は、地震発生直後から地震や津波に関するさまざまな情報を発表しています。情報の精度は基本的に時間とともに高まっていきます。



気象庁パンフレット「地震と津波」から

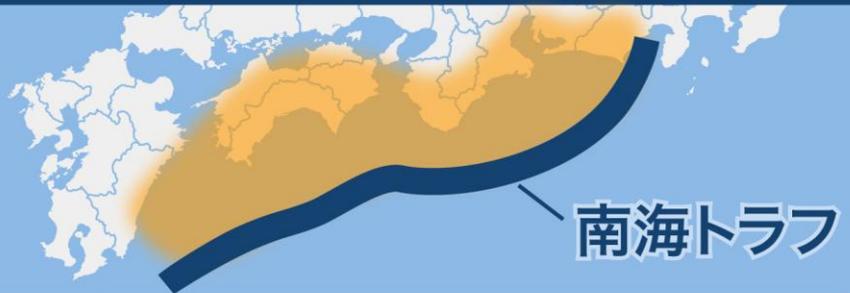


気象庁マスコットキャラクターはれるん

高知地方気象台  
台長 藤本英生

# 繰り返す南海トラフ地震

## 南海トラフ地震 歴史と特徴 (14世紀以降)

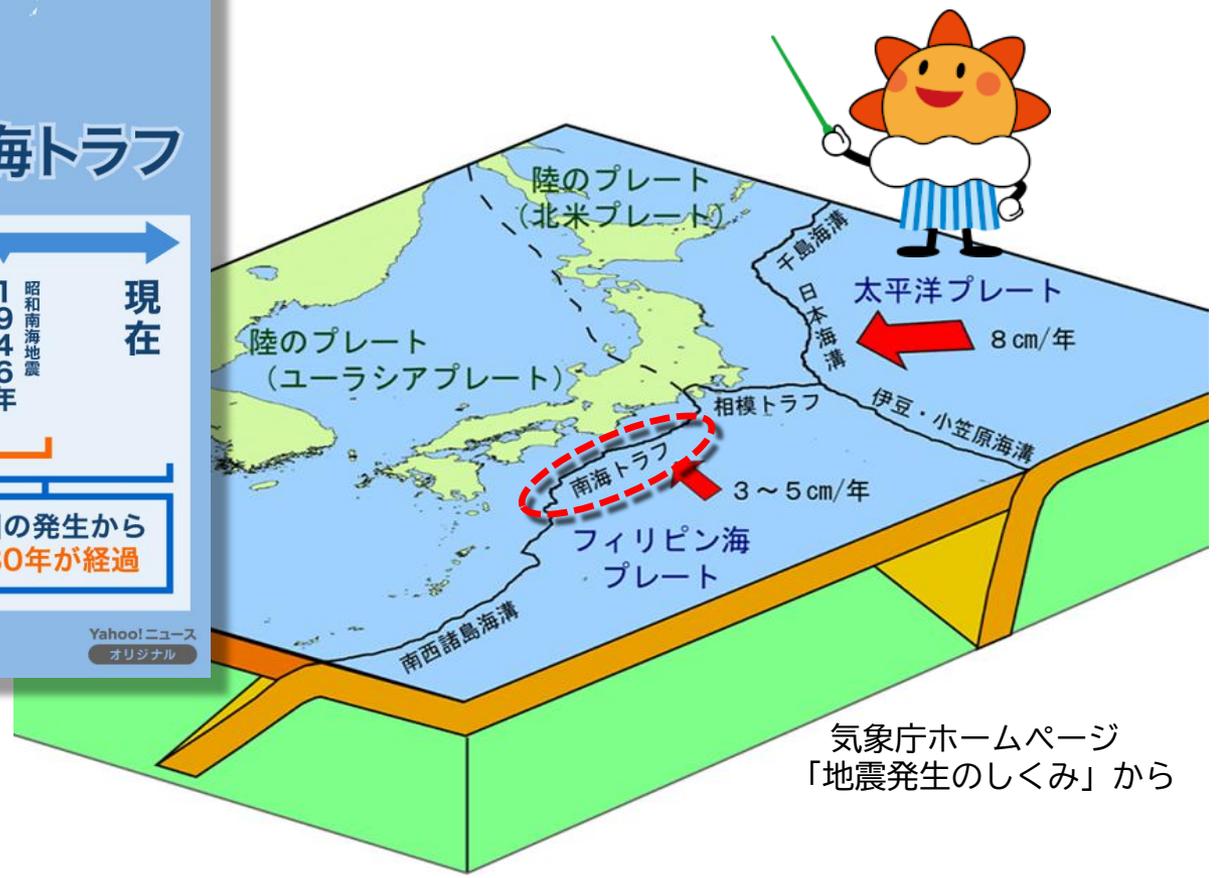


約100年~150年間隔で繰り返し大規模地震が発生

前回の発生から約80年が経過

監修：内閣府(防災担当)、気象庁

Yahoo! ニュース  
オリジナル



気象庁ホームページ  
「地震発生のしくみ」から

# 寺田寅彦先生のことば

「地震の現象」と「地震による災害」とは区別して考えなければならない。

現象の方は人間の力でどうにもならなくても、「災害」のほうは注意次第でどんなにでも軽減されうる可能性があるのである。

寺田寅彦(1935(昭和10)年)「災難雑考」(天災と国防より)

ものをこわがらな過ぎたり、こわがり過ぎたりするのはやさしいが、正当にこわがることはなかなかむづかしい

寺田寅彦(1935(昭和10)年)「小爆発二件」(天災と国防より)



# 正當に（正しく）こわがるために

## 地震（相手）を知る

過去の地震（東北地方太平洋沖地震の地震活動）  
自然災害史跡や過去の記録

## 社会の取り組みを知る

ハザードマップ  
地震や津波の情報  
観測、調査研究

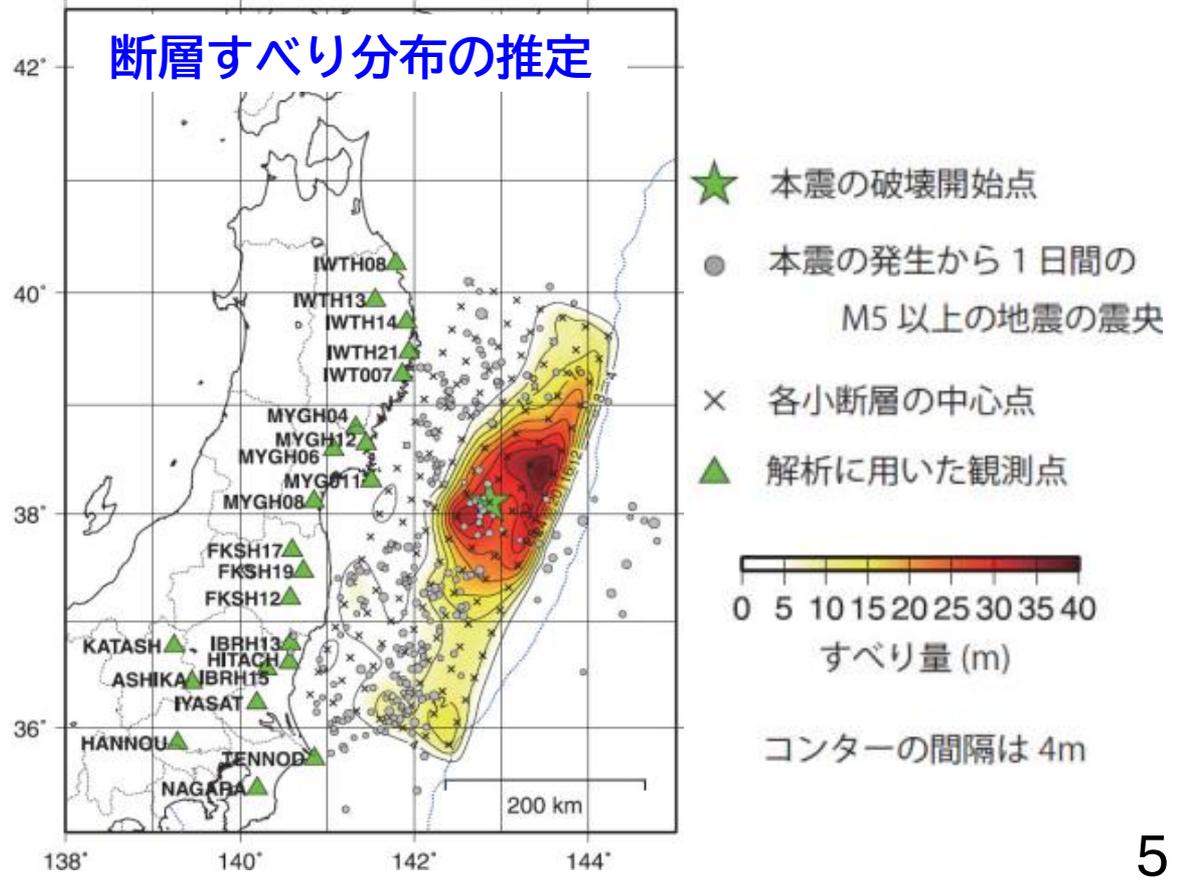
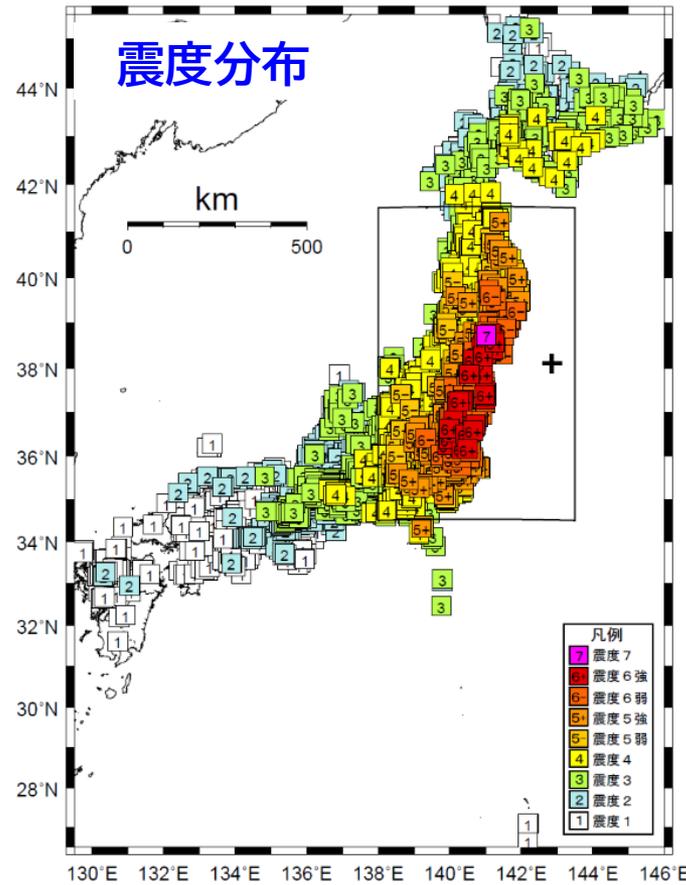
## 自分の取り組みを確認する

# 地震を知る

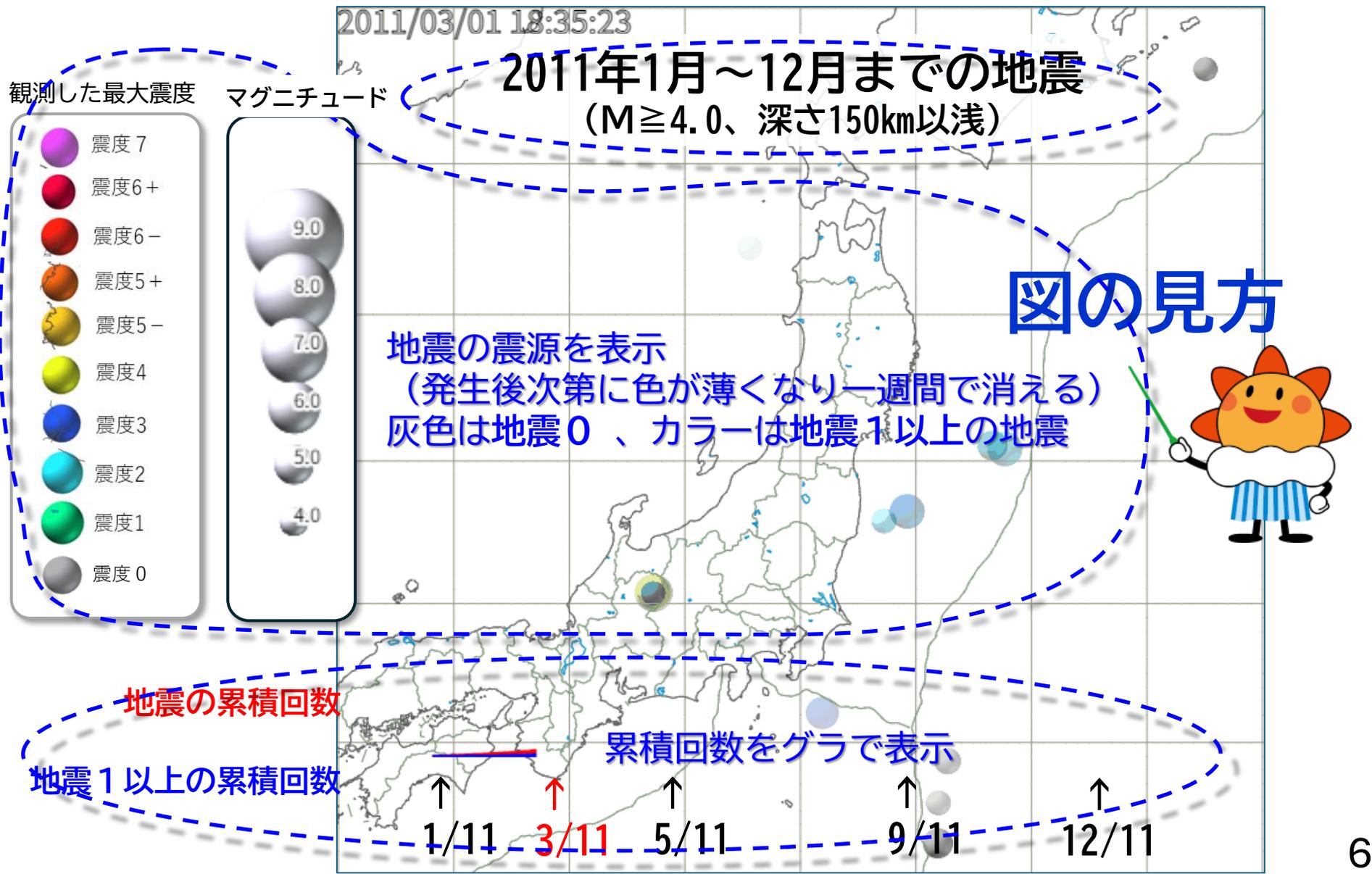
# 東北地方太平洋沖地震

(最大クラスの南海トラフ地震と同程度の地震)

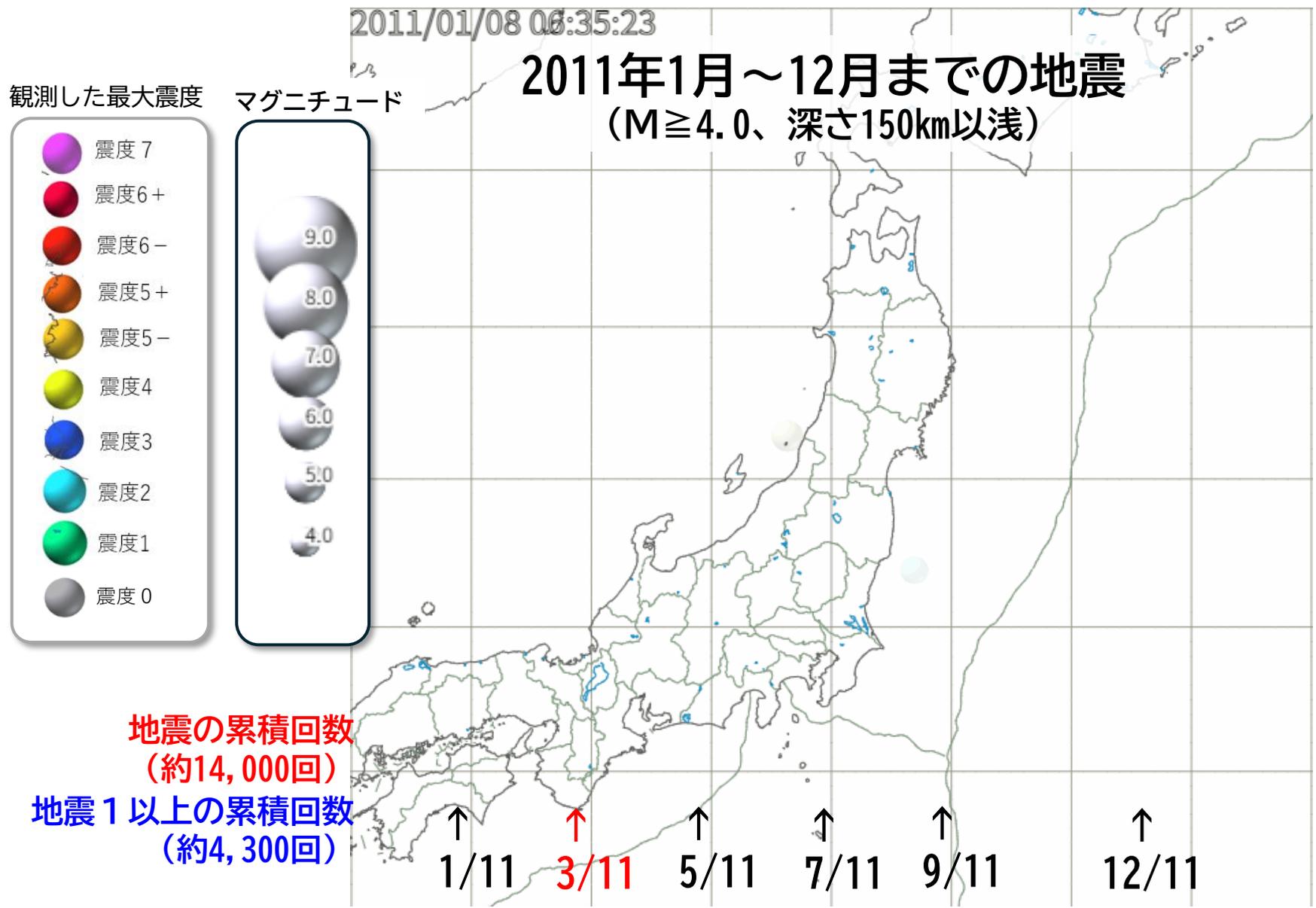
地震発生時刻：平成23年3月11日14時46分  
 発生場所：北緯38度06.2分 東経142度51.6分 深さ24km  
 規模(Mw)：9.0 最大震度：7  
 発震機構：西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型



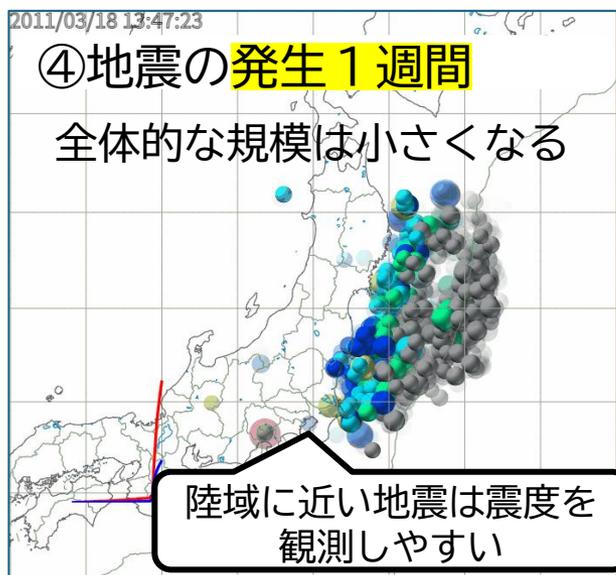
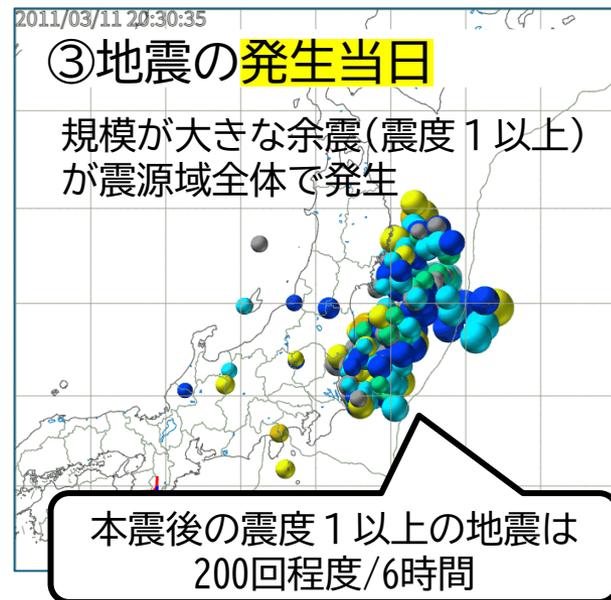
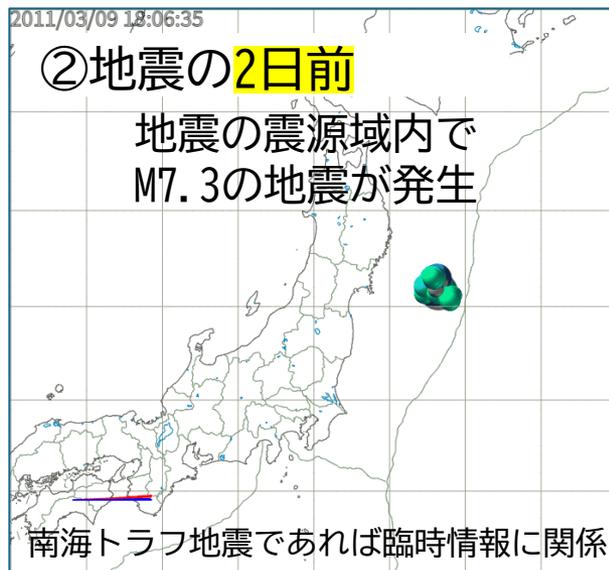
# 地震を知る 東北地方太平洋沖地震の地震活動



# 地震を知る 東北地方太平洋沖地震の地震活動



# 地震を知る 東北地方太平洋沖地震の地震活動



## 地震を知る

# 自然災害史跡や過去の記録

## 宿毛市大島 鵜(はいたか)神社

南海トラフ地震に伴う津波の高さは、  
個々の地震でまちまち。

<現在の津波予想(宿毛市大島周辺)>  
最大クラスの地震 : 5~10m  
発生頻度の高い地震 : 3~5m  
(安政南海地震クラス)

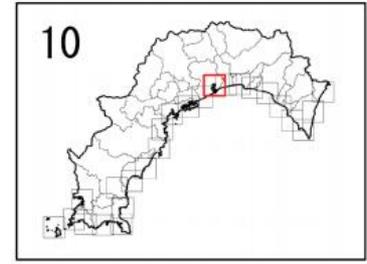
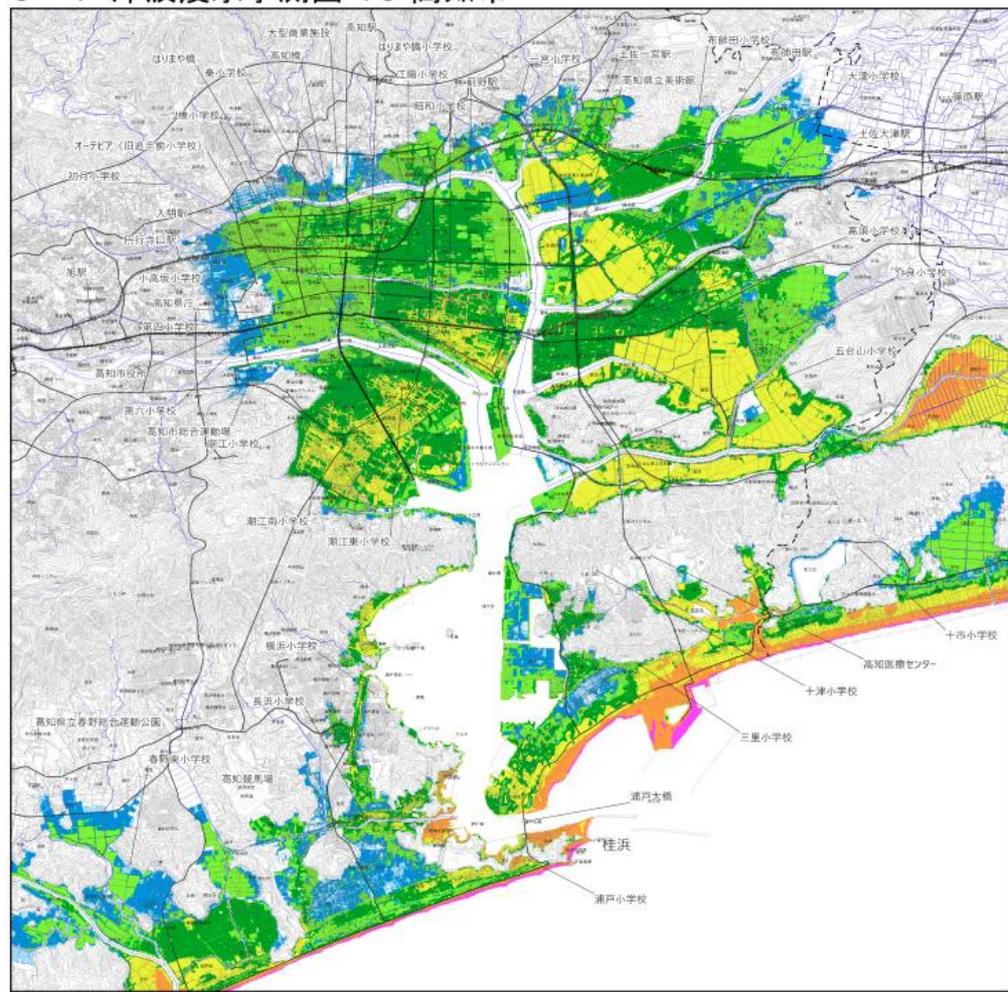


<参考>  
村上他(1996) 四国における歴史津波(1605慶長・1707宝永・1854安政)の津波高の再検討. 自然災害科学, 15-1, 39-52

社会の取組

# 津波浸水予測図

6-4 津波浸水予測図 10 高知市 最大クラスの津波



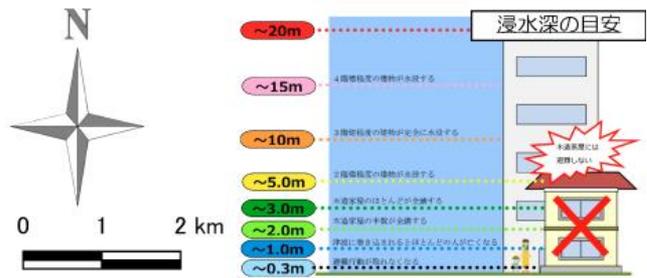
**【避難するべき場所がわかります】**

・さらにもう一段高いところにすぐには上がれるような高台を目指して逃げましょう。近くに高台がない場合は、浸水深より高い建物や、津波避難タワーなどを避難場所として検討しましょう。

その1「自助と共助で備える。あなたの命はあなた自身が守る！」  
その2「想定にとらわれず、最善を尽くす！」  
その3「取り組みに無駄はない、できることから実行を！」

**注意事項**

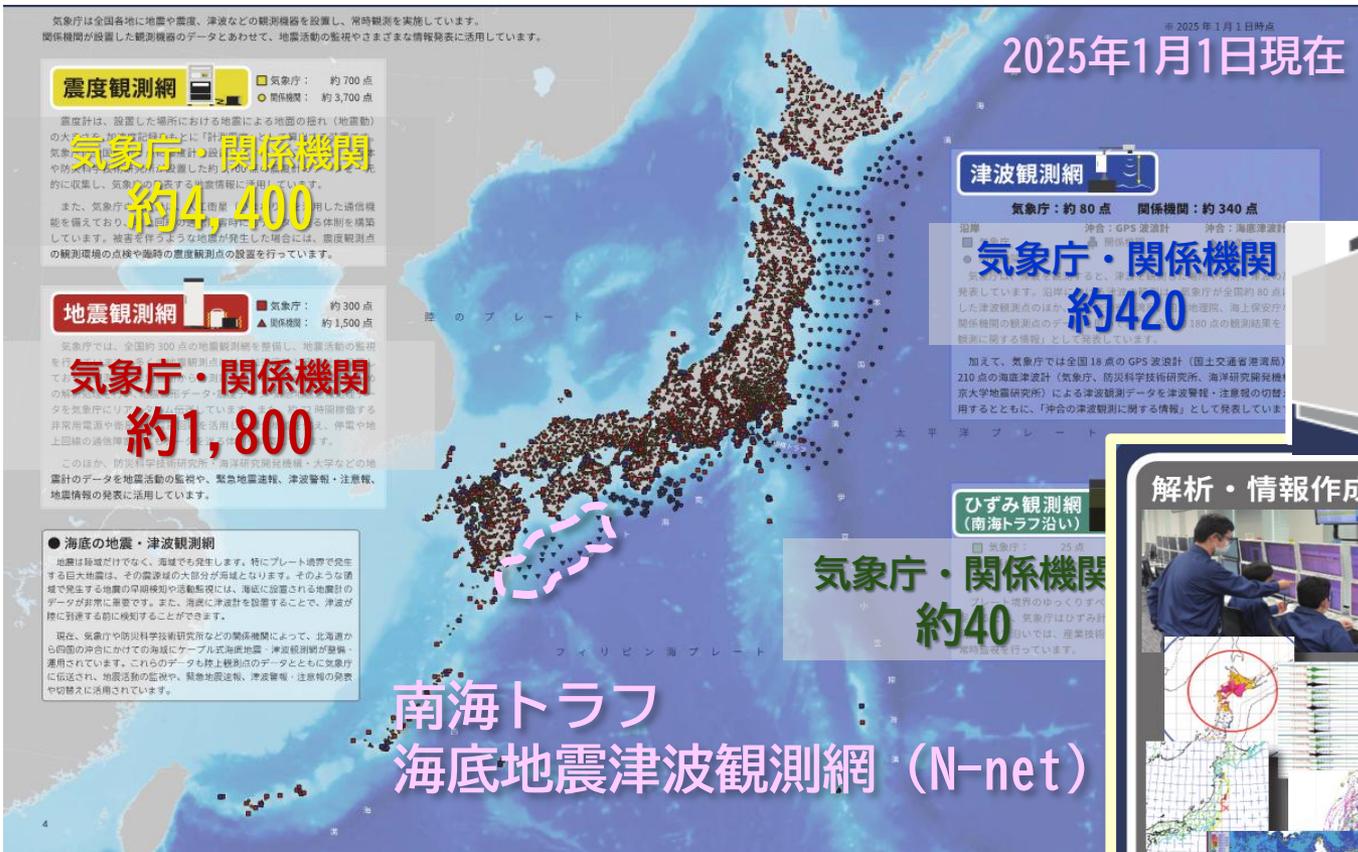
- ・この図は、最大クラスの津波による浸水域・浸水深を重ね合わせて示しています。
- ・土で築堤された堤防：地震後は堤防高さの75%が沈下し、津波が堤防を越流し始めた時点で「堤防高ゼロ」としています。
- ・コンクリート構造の堤防（防波堤）：最大クラスの地震（L2）に対する耐震性評価結果を考慮し、各区間ごとに沈下量を設定しました。耐震性評価結果のない堤防については地震と同時に「堤防高ゼロ」としています。また、津波が越流し始めた時点で「堤防高ゼロ」としています。
- ・浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響などにより、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)を使用した。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 7Jhs 323)

社会の取組

# 地震・津波の情報を発表するために



## 24時間体制 東京・大阪の二拠点



**解析・情報作成作業**

**各種情報**

- 緊急地震速報
- 津波警報・注意報
- 地震情報・津波情報
- 震度情報
- 南海トラフ地震に関連する情報
- 北海道・三陸沖後発地震注意情報
- その他の情報  
解説資料等

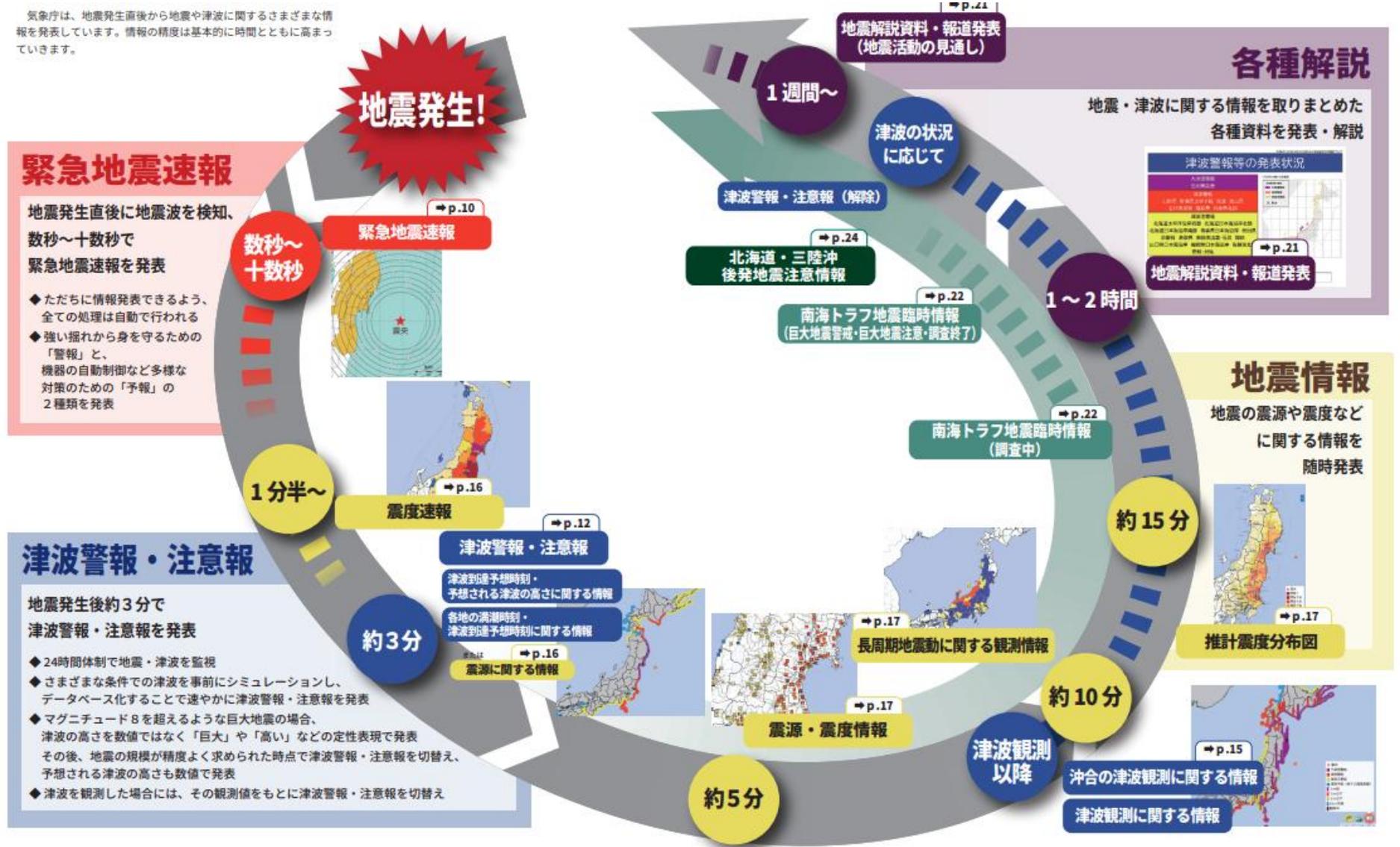
これまでよりも

- ・地震を最大20秒早く
- ・津波を最大20分早く

直接検知できるようになった

# 社会の取組 気象庁が発表する地震・津波の情報

気象庁は、地震発生直後から地震や津波に関するさまざまな情報を発表しています。情報の精度は基本的に時間とともに高まっていきます。



# 地震が発生したら



## 地震発生 揺れを感じたらまず身を守る行動を

家庭で

頭を保護して  
机の下など  
頑丈な場所に  
隠れる



屋外で

ブロック塀や電柱、  
自動販売機など、  
倒れる危険のある  
場所から離れる



沿岸部で

津波の発生・襲来  
に備えて、安全な  
場所に避難する



気象庁リーフレット「南海トラフ地震 -その時の備え-」から

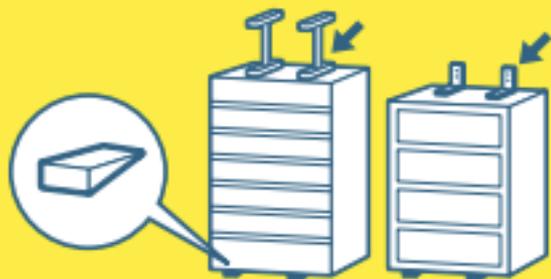
## 自分の取組

# 地震に事前に備える

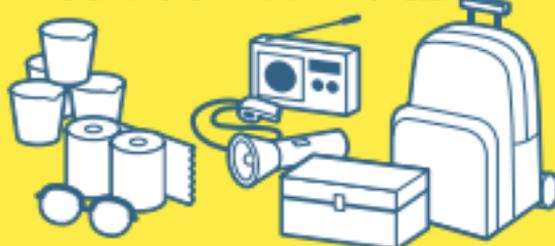


## 地震の発生に備えよう

### □ 家具の固定



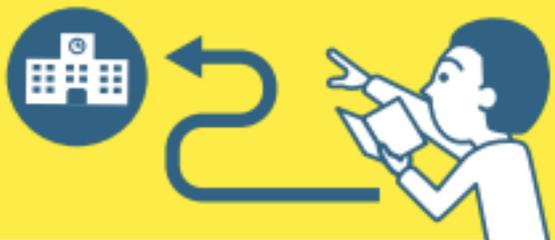
### □ 非常用 持ち出し袋の準備



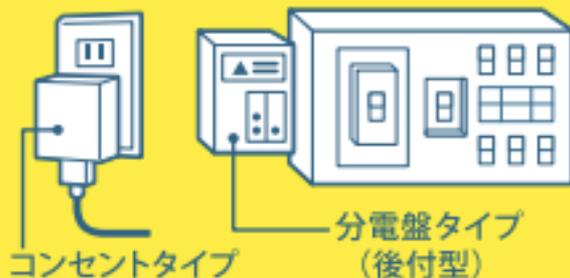
### □ 水や食料の備蓄



### □ 避難場所や 避難経路の確認



### □ 感震ブレーカーの設置



### □ 建物の耐震化



自らの命、大切な人の命を守るために、今から準備しておきましょう

気象庁リーフレット「南海トラフ地震 -その時の備え-」から

# 資料のご案内

本日のご説明で用いた気象庁の資料は気象庁ホームページでご覧頂けます。

【気象庁ホームページ】 <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>



ここに  
キーワードを書いて  
検索して下さい



## <検索のキーワード>

- 『南海トラフ地震について』
- 『リーフレット 南海トラフ地震』
- 『パンフレット 地震と津波』

これに加えて、次の資料もぜひ検索してご覧下さい。

- 『マンガ 南海トラフ地震』
- 『マンガ 津波フラッグ』

# おわりに

悪い年回りはむしろいつかは回ってくるのが自然の鉄則であると覚悟を定めて、良い年回りの間に十分の用意をしておかなければならないということは、実に明白すぎるほど明白なことであるが、またこれほど万人がきれいに忘れがちなことにもまれである。

寺田寅彦(1934(昭和9)年)「天災と国防」(天災と国防より)



寺田寅彦記念館 (4歳~19歳まで過ごした邸宅を復元)

# (参考) 南海トラフ地震臨情報

